



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 株式会社 理経  
 コード番号 8226 URL <http://www.rikei.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 猪坂 哲  
 (氏名) 長谷川 章詞  
 TEL 03-3345-2153

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,106	114.1	115		112		132	
30年3月期第1四半期	983	11.2	242		241		261	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 120百万円 ( %) 30年3月期第1四半期 256百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	8.77	
30年3月期第1四半期	17.27	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,143	3,949	55.3
30年3月期	6,944	4,069	58.6

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 3,949百万円 30年3月期 4,069百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		0.00	0.00
31年3月期					
31年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成31年3月期の配当予想に関しましては、現時点では未定であります。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	21.9	210		220		220		14.55
通期	9,500	19.1	100		90		50		3.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	15,514,721 株	30年3月期	15,514,721 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	394,958 株	30年3月期	394,958 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	15,119,763 株	30年3月期1Q	15,119,764 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善が見られ、個人消費も穏やかな回復基調が続いているものの、海外では米国の政策動向や貿易摩擦が今後の世界経済に与える影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、中期経営計画に基づき、現行三事業領域の強靱化と各事業間の連携を図り、安定した収益を確保するとともに、新たなビジネス領域への進出を図り、収益の拡大や市場環境の変化への対応を推進していくことで更なる業績の向上を最優先課題として日々努めております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、連結売上高は21億6百万円（前年同期間比114.1%増）となりました。損益面では、営業損失は1億1千5百万円（前年同期間は2億4千2百万円の営業損失）、経常損失は1億1千2百万円（前年同期間は2億4千1百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億3千2百万円（前年同期間は2億6千1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

システムソリューションにおきましては、中央省庁向けシステム更新案件があり、売上高は7億3千5百万円（前年同期間比63.4%増）、営業損失は4千万円（前年同期間は6千7百万円の営業損失）となりました。

ネットワークソリューションにおきましては、映像配信システム案件が順調に推移し、売上高は2億3千8百万円（前年同期間比58.9%増）、営業損失は5千7百万円（前年同期間は1億1千2百万円の営業損失）となりました。

電子部品及び機器におきましては、株式会社エアロパートナーズの子会社化により、売上高は11億3千1百万円（前年同期間比195.3%増）、営業損失は1千7百万円（前年同期間は6千1百万円の営業損失）となりました。

なお、セグメント間取引については、相殺消去しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は61億4千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千5百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金2千5百万円、受取手形及び売掛金4億8千2百万円、有価証券1億円が減少しましたが、商品及び製品1億3千万円、前渡金6億8千万円が増加したことによります。固定資産は9億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千6百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産及び投資その他の資産の減少によるものであります。

この結果、総資産は71億4千3百万円となり、前連結会計年度に比べ1億9千8百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の合計は28億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億2千5百万円増加となりました。これは主に支払手形及び買掛金1億8千8百万円、未払法人税等1千2百万円が減少したものの、短期借入金9千4百万円、前受金5億1千5百万円が増加したことによります。

固定負債は3億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少となりました。これは主に退職給付に係る負債が減少したためであります。

この結果、負債合計は31億9千4百万円となり、前連結会計年度に比べ3億1千8百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は39億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千万円減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失1億3千2百万円の計上となったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、平成30年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありませんが、今後の経済情勢は、米国の政策運営による金融市場の変動等、海外の政治動向への不透明感は依然として払拭されない状況が続いており、業績予想に影響を与える事が予想されます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,898,150	2,872,771
受取手形及び売掛金	2,312,469	1,829,515
有価証券	100,197	-
商品及び製品	208,456	338,950
前渡金	331,437	1,012,361
その他	78,974	92,661
貸倒引当金	△547	△2,068
流動資産合計	5,929,138	6,144,192
固定資産		
有形固定資産	403,507	405,028
無形固定資産		
のれん	131,227	124,187
その他	36,973	33,629
無形固定資産合計	168,200	157,817
投資その他の資産		
投資有価証券	147,770	153,593
繰延税金資産	66,393	51,776
その他	229,929	231,373
投資その他の資産合計	444,092	436,743
固定資産合計	1,015,800	999,589
資産合計	6,944,939	7,143,782
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,159,281	970,458
短期借入金	506,000	600,000
未払法人税等	27,543	14,966
前受金	544,854	1,059,972
その他	292,247	210,318
流動負債合計	2,529,925	2,855,716
固定負債		
退職給付に係る負債	261,516	255,955
役員退職慰労引当金	39,716	40,429
その他	44,482	42,411
固定負債合計	345,716	338,795
負債合計	2,875,642	3,194,512
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,426,916	3,426,916
資本剰余金	615,043	615,043
利益剰余金	175,906	43,365
自己株式	△112,259	△112,259
株主資本合計	4,105,606	3,973,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,050	45,873
繰延ヘッジ損益	146	393
土地再評価差額金	△11,613	△11,613
為替換算調整勘定	△61,360	△55,431
退職給付に係る調整累計額	△3,531	△3,017
その他の包括利益累計額合計	△36,309	△23,795
純資産合計	4,069,296	3,949,270
負債純資産合計	6,944,939	7,143,782

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	983,896	2,106,488
売上原価	748,077	1,679,029
売上総利益	235,818	427,458
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	221,886	264,672
退職給付費用	8,991	8,839
役員退職慰労引当金繰入額	-	712
貸倒引当金繰入額	-	1,584
その他	247,331	267,575
販売費及び一般管理費合計	478,208	543,384
営業損失(△)	△242,390	△115,925
営業外収益		
受取利息	301	211
受取配当金	904	1,355
受取賃貸料	628	602
受取保険金	-	3,000
為替差益	603	-
その他	211	1,772
営業外収益合計	2,648	6,940
営業外費用		
支払手数料	1,745	1,743
為替差損	-	1,059
その他	7	360
営業外費用合計	1,752	3,163
経常損失(△)	△241,494	△112,148
税金等調整前四半期純損失(△)	△241,494	△112,148
法人税、住民税及び事業税	3,649	5,935
法人税等調整額	16,032	14,457
法人税等合計	19,681	20,392
四半期純損失(△)	△261,175	△132,540
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△261,175	△132,540

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△261,175	△132,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,970	5,823
繰延ヘッジ損益	14	247
為替換算調整勘定	△1,005	5,929
退職給付に係る調整額	748	513
その他の包括利益合計	4,728	12,514
四半期包括利益	△256,447	△120,026
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△256,447	△120,026
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	システムソリ ューション	ネットワー クソリユー ション	電子部品及び 機器			
売上高						
外部顧客への売上 高	450,320	150,305	383,270	983,896	-	983,896
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	134	8,951	270	9,356	△9,356	-
計	450,454	159,257	383,540	993,253	△9,356	983,896
セグメント損失 (△)	△67,850	△112,696	△61,843	△242,390	-	△242,390

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	システムソリ ューション	ネットワー クソリユー ション	電子部品及び 機器			
売上高						
外部顧客への売上 高	735,704	238,832	1,131,951	2,106,488	-	2,106,488
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,388	25,852	270	27,510	△27,510	-
計	737,093	264,684	1,132,221	2,133,999	△27,510	2,106,488
セグメント損失 (△)	△40,996	△57,027	△17,901	△115,925	-	△115,925

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。